

# 令和5年度千葉市イノシシ対策のためのアンケート調査結果概要

調査用紙配布：2023年10月25日 回収：2023年12月9日

調査対象：農業組合（緑区及び若葉区の一部） 実施：千葉市農政センター農業経営支援課（調査受託業者 合同会社 AMAC）

調査用紙配布数 86件、回答数 53件（回答率 61.0%）

→この調査結果を踏まえ、本市のイノシシ対策を促進していきます。調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

## 結果

出没・被害の情報が寄せられている地域は緑区東部、若葉区の北東部が中心。緑区の東・南部は、大網白里市及び市原市との境付近に生息情報が集中している（図1）。若葉区は北の佐倉市、八街市との市境付近の出没が顕著。緑区の被害は西部の平山町や五十土町、佐和町付近まで拡大しています（図2）。

被害程度の設問では、被害が甚大化している回答（「大きい」及び「深刻」）が上大和田町、越智町、新たに若葉区の下泉町、上泉町などから得られた（図2）。若葉区西部、緑区西部より中央区へかけて被害拡大が懸念される（図3）。令和5年10月25日には千葉駅前にはイノシシが突発的に出没しました。

